



高等教育コンソーシアム信州

*The Consortium of Higher Education in Shinsbu*

<http://www.c-snet.jp/>

## ごあいさつ



高等教育コンソーシアム信州  
会長 山沢 清人

「高等教育コンソーシアム信州」は、長野県内の全8大学が連携し、教育の全体的なレベルアップを図るという大きなプロジェクトです。いずれも個性あふれる大学であり、各大学の特色ある教育研究のノウハウを共有して高め合えることに、大きな期待が寄せられています。

これまで、遠隔講義の運用試験を兼ねた「K<sup>3</sup>茶論(ケー・スリー・サロン)」が着々と回を重ね、平成22年度から遠隔講義が本格的にスタートします。8大学が連携してのFD活動や就職支援についても次々に活動が始まっており、今後活発に展開していく予定です。

変化の激しい時代には、文系か理系かの二者択一ではなく、両者の知見を兼ね備えた、何事にも柔軟に対応できる人間性豊かな人材の育成が求められます。

コンソーシアムの8大学が連携することで、文系・理系のほぼ全ての分野を網羅することができ、しかも東信・北信・中信・南信にバランスよく立地しているため県内全域をカバーできます。お互いの個性を活かしながら、教育研究資源を有効活用して成果を還元していくことで、年々高まる地域の人材育成の要請に必ず応えられるものと信じています。皆様には、ご支援、ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

### 高等教育コンソーシアム信州の目的

高等教育コンソーシアム信州は、長野県内各高等教育機関が相互に連携・協力し、長野県内の高等教育全体の資質向上を推進することにより、地域の教育・学術研究の充実・発展を図るとともに、地域社会及び産業界との連携推進により、産学官による活力ある人づくり・街づくりへの貢献を目指し、その実現に取り組むことを目的とする。

### シンボルマーク



このシンボルマークは、長野大学企業情報学部企業情報学科3年橋爪勇志さん(上田市)のデザインによるものです。コンソーシアムという核(中央の赤い丸)を、長野県内の高等教育機関が手を取り合って協力している様子を表しています。信州(Shinshu)の頭文字「S」と「人」をイメージし、さらに県内8大学を漢数字「八」になぞらえデザインしました。また、信州の自然をイメージした、山の「緑」と川の「水色」をカラーに用いました。  
※受賞者の学年は応募当時のものです。

### 通称「S(エス)ネット」

#### ■「S(エス)」が表わすもの

- 1.Shinshu / 信州
- 2.Self-Study / 自ら学ぶ … 大学の教育現場を「自ら学ぶ」場へ転換する
- 3.Share / 分け合う … ネットワーク配信による授業の共同利用など、知的共有を図る
- 4.Scale / スケール(スケールメリット) … 連携によりできたスケールメリットを各大学に振り分ける
- 5.Social / 社会的な … 連携により柔軟な人材の育成を図り、社会へ貢献する

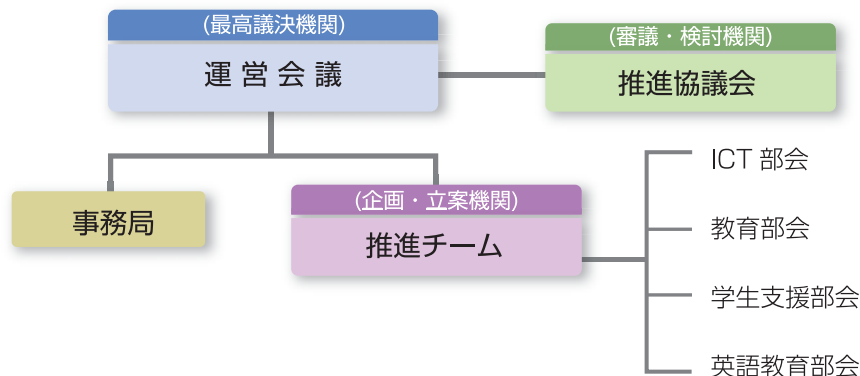
#### ■「ネット」が表わすもの

- 1.ネットワーク配信授業などの情報通信ネットワーク
  - 2.大学間の教職員ネットワーク
  - 3.学生間のメンター活動などによるネットワーク
- 地域を越えた情報通信ネットワーク・人的ネットワークを活発化することにより、県内高等教育の発展へつなげる。

# 高等教育コンソーシアム信州とは

## 構成概略図

高等教育コンソーシアム信州は次の組織で成り立っています。推進チーム会議の下には四つの専門部会があり、すべての部会に県内8大学の教職員が配置され、高等教育コンソーシアム信州の活動を企画・立案・実行しています。



## 連携取組の概要

平成20年度文部科学省公募事業

「戦略的大学連携支援事業」採択プログラム

取組名称：大学間地域ネットワーク構築による高等教育質保証と人材育成の実質化

事業期間：平成20年度～平成22年度

代表校：信州大学

連携校：長野県看護大学、佐久大学、諏訪東京理科大学、清泉女学院大学、長野大学、松本歯科大学、松本大学

関係自治体・経済団体等名：長野県、長野県教育委員会、社団法人長野県経営者協会

## 〈連携取組の概要〉

『高等教育コンソーシアム信州』を新たに立ち上げる。それによりこれまでの長野県大学連絡協議会による連携を、各大学が共通して必要な部分を共有する連携に飛躍的に発展させ、スケールメリットによりできた資源を、各大学の個性伸長に振り分ける。また、各大学の教育メニューを豊かにし、個々の授業での学びを実質化する点に重点を置く。実質化の方策は、「学習ファシリテーション・学生ピアメンター・学生地域メンター活動」を核とする「自ら学ぶ姿勢の獲得」である。

## 1. 大学間人的ネットワークの整備

高等教育コンソーシアム信州を設立し、「自ら学ぶ」姿勢を得させる教育に関する事業の企画・運営を推進する。

## 3. ネットワーク配信による授業の共同利用

授業群（環境副専攻、基礎科学リテラシー・パッケージ、日本語コミュニケーションリテラシー・パッケージ、初修外国語）をネットワーク配信する。授業を受信する側での効果的な授業運営（学習ファシリテーション）の研究を行う。

## 5. 学生ピアメンターの育成と活用

県内大学の共通の悩みである、多様な学生の「学ぶ姿勢の欠如」の解決をねらい、グループ学習の推進役として導入するものである。メンター育成のためにキャンプを共同実施する。

## 7. 学生支援

学生イベント、企業説明会、県内企業の求職情報、インターンシッププログラム、メンタルヘルス・ケア、キャリアカウンセリングの企画・実施・共有を行う。

## 9. 学生地域メンター活動

いじめや不登校で悩む地域の小中高校生の話し相手として大学生がボランティア活動をする。

## 2. 大学間ICTネットワーク講義システムの整備

大学間を高速通信ネットワークでつなぎ、授業を配信する。

## 4. 英語教育での連携

英語の非常勤教員を、FDを目的にコンソーシアムで組織化し、各大学の特徴ある優れた英語の授業を素材に学びあう。

## 6. リメディアル教育の共同運営

自大学の学生には何が足りないのかを探り、コンソーシアムが共同してリメディアル教育のメニューを整備する。

## 8. 高大連携援

高校生の素朴な疑問を課題解決型授業でのグループ学習の課題とする。



# 高等教育コンソーシアム信州の主な取り組み

## 遠隔講義システムの運用

長野県内8大学の大学間ICTネットワーク講義システムが整備され、大学間でさまざまな遠隔講義システムの活用が行われています。

## 「K<sup>3</sup>茶論」

毎月定期開催している「K<sup>3</sup>茶論(ケー・スリー・サロン)」は、毎回異なる講師の方をお招きし、自由なテーマのもと、参加者同士が楽しくトークをするという気軽なスタイルの茶論(サロン)です。「K<sup>3</sup>」とは、「高等教育交流(Koutou Kyouiku Kouryu)」の略称です。

平成21年度には全12回が開催され、県内の各大学がさまざまなテーマで茶論を配信しました。過去の「K<sup>3</sup>茶論」の講演の様子は、講演コンテンツとなっており、「高等教育コンソーシアム信州」ホームページでいつでもご覧いただくことが可能です。



「K<sup>3</sup>茶論」受講者の様子



「K<sup>3</sup>茶論」の様子を各大学へ遠隔配信



「K<sup>3</sup>茶論」講演コンテンツ

## 平成21年度「K<sup>3</sup>茶論」開催テーマ一覧

- 1 学生の学びとコンピュータ –ICT活用と自由で確かな学び–
- 2 学生たちと、歩いて歩いたフォッサマグナ
- 3 ICT活用教育と著作権
- 4 草の根長期海外留学推進：現場の取り組み
- 5 モンゴル現代文学手稿のデジタル化による保存と復元の可能性について
- 6 教育学部におけるe-Learning活用事例紹介 –e-Learning教材をつくろう!–
- 7 発達障害のある学生の支援 –潜在的な力を引き出すために–
- 8 信州大学における多読授業支援システムの紹介 –楽しく読めば英語力が上がる!–
- 9 情報セキュリティ実践セミナー
- 10 歯・健康・スポーツ
- 11 森の生態系サービスの活用を学ぶ環境教育 –カリキュラムの理念・特徴的な手法とこれまでの成果–
- 12 女性学、男性学で読む日本映画 –泣く男、泣かない男の『北の零年』–

※過去の講演コンテンツは、「高等教育コンソーシアム信州」ホームページからご覧いただけます(<http://www.c-snet.jp/k3/>)。

## 遠隔授業

遠隔講義システムを利用して、県内8大学間で授業の配信・受信を行っています。平成21年度には、信濃毎日新聞社の記者が講師を務めた授業「新聞と私たちの社会」が、信州大学から県内各地の大学生に配信されました。

さらに、平成22年度から単位互換制度のひとつとして「遠隔授業」がスタートし、自大学の遠隔講義室にいながらにして、他大学が配信する授業を受講することができるようになりました。学生が他大学へ移動する負担がなくなり、県内大学の個性豊かな科目を、どの大学でも効率よく受講することが可能になりました。



## 平成22年度 遠隔配信授業一覧

	前期		後期	
月	清泉女学院大学 信州大学	英語基礎Ⅱ(たてなおしの英語) ドイツ語(初級)Ⅰ	信州大学	哲学と政治 ドイツ語(初級)Ⅱ
火	松本歯科大学 松本大学	基礎自然科学(数理系)Ⅰ 日本国憲法	信州大学 松本大学	民主主義について 社会学
水	佐久大学 信州大学	看護基礎理論 物理学の世界	諏訪東京理科大学	医用生体工学 機械システム工学通論 環境マネジメント
木	清泉女学院大学 信州大学	英語基礎Ⅰ(たてなおしの英語) 発達・学校臨床の実際 社会の中の個人として生きる	長野大学	生態学B 現代中国事情
金	長野県看護大学 信州大学	国際看護学 大学院生向け英作文	信州大学	新聞と私たちの社会 (信濃毎日新聞寄附講義) 大学院生向け英作文

※このほかに、前期完全e-Learning科目として、信州大学から「電子出版と社会」が配信されます。

※「大学院生向け英作文」(前期・後期とも金曜日)は、単位なしの科目です。

## 長野県内大学単位互換制度

県内8大学の学生が、他大学で提供されている科目を履修し、それが自大学において単位認定される制度です。単位互換制度は、2年次以上の学部生、及び大学院生が対象で、入学料、授業料を無料で受講することができます。これまでに長野県内の76人の学生が、この単位互換制度を活用して単位を修得しています。

「遠隔授業」は、単位互換制度の新しい受講スタイルです。他大学が配信する授業を自大学で受講し、それが自大学の単位に認定されます。

## フォーラム、就職説明会等の共同開催

県内8大学が連携し、フォーラムや就職説明会を共同開催しています。今後もさまざまなテーマで開催していきますので、どうぞご期待ください。

### GPフォーラム



高等教育コンソーシアム信州に加盟する県内8各大学の優れた教育取組(Good Practice)を、合同で発表するフォーラムを開催しています。

### FD、SDの連携実施

県内8大学では、FD、SDを連携して行っています。

FDフォーラムでは、県内大学の教職員が連携して大学教育に関する意見交換を行い、授業内容の改善やリメディアル教育などをテーマにフォーラムを開催しています。第1回は「大学連携によるFD活動を考える」、第2回は「リメディアル教育の必要性和現状」をテーマに開催され、毎回、県内外から多くの教職員の方にご参加をいただいています。

また、SD研修会を県内8大学へ遠隔配信するなど、県内大学教職員の教育力向上に努めています。



FDフォーラムの様子

### 学生ピアメンターキャンプの実施

学生がより積極的に授業に参加できるよう、グループ学習で教員をサポートし、学生の推進役を務める「学生ピアメンター」を育成するキャンプを行っています。

平成21年度は、国立信州高遠青少年自然の家(伊那市)において、一泊二日の日程で開催されました。県内8大学から、学生25名、教職員13名が参加し、グループワークを通してファシリテーションについて考えることを実践しています。



各大学の参加者

### 高大連携(PBL、リメディアル教育)の実施

高校と大学の連携を図り、問題解決型授業(PBL:Problem Based Learning)を実施したり、大学生の基礎学力を補うリメディアル教育を8大学共同で運営しています。

### 留学教育、交流事業

ユタ大学のELI(English Language Institute)の、夏期3週間プログラムへの参加を呼びかけています。

### 学生交流事業

県内大学の新入生を歓迎する「虹色フェスティバル」を毎年実施するなど、各大学の学生間交流に努めています。

## 会員募集について

高等教育コンソーシアム信州の活動や事業を支援する会員になりませんか?本コンソーシアムでは、会員になっていただける団体、個人を募集しています。県内高等教育と地域の発展を目指す高等教育コンソーシアム信州の活動に、ご協力をお願いいたします。

詳しいお申し込み方法については、高等教育コンソーシアム信州事務局までお問い合わせください。

年会費：特別会員(長野県内地方公共団体)、賛助会員(団体・個人)とも、1口1万円、1口以上

## 高等教育コンソーシアム信州 加盟大学一覧



### 信州大学

〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1  
TEL.0263-35-4600 (代表)  
<http://www.shinshu-u.ac.jp/>



### 長野県看護大学

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂 1694  
TEL.0265-81-5100 (代表)  
<http://www.nagano-nurs.ac.jp/>



### 佐久大学

〒385-0022 長野県佐久市岩村田 2384  
TEL.0267-68-6680 (代表)  
<http://www.saku.ac.jp/>



### 諏訪東京理科大学

〒391-0292 長野県茅野市豊平 5000-1  
TEL.0266-73-1201 (代表)  
<http://www.suwa.tus.ac.jp/>



### 清泉女学院大学

〒381-0085 長野県長野市上野 2-120-8  
TEL.026-295-5665 (代表)  
<http://www.seisen-jc.jp>



### 長野大学

〒386-1298 長野県上田市下之郷 658-1  
TEL.0268-39-0001 (代表)  
<http://www.nagano.ac.jp/>



### 松本歯科大学

〒399-0781 長野県塩尻市広丘郷原 1780  
TEL.0263-52-3100 (代表)  
<http://www.mdu.ac.jp>



### 松本大学

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1  
TEL.0263-48-7200 (代表)  
<http://www.matsumoto-u.ac.jp/>

(平成 22 年 3 月 1 日現在)



### 高等教育コンソーシアム信州 事務局

〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学学務課内  
電話 :0263-37-2427 FAX:0263-36-3044  
URL: <http://www.c-snet.jp/> Mail:[office@c-snet.jp](mailto:office@c-snet.jp)